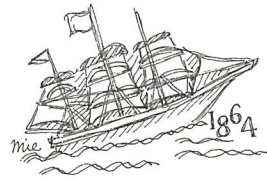


DOSHISHA REPORT



法人部

●2007年春の叙勲並びに死亡叙位・叙勲

大学特別客員教授の福島裕氏が瑞宝重光章を受章し、5月8日皇居において、元女子大学長、女子大学名誉教授の岡野久二氏が瑞宝中綬章を受章し、5月10日国立劇場大劇場において伝達式が行われた。また、元理事、元大学長、大学名誉教授の笹田友三郎氏が、6月3日に従四位瑞宝重光章を受章した。

●2007年度入社式

4月3日、大学神学館礼拝堂において入社式を行った。本年度の採用は、大学教員53人、女子大学教員16人、高等学校教員3人、香里中学校・高等学校教員1人、女子中学校・高等学校教員3人、国際中学校・高等学校教員4人、中学校教員3人、小学校教員3人、幼稚園教員1人、大学職員11人、女子大学職員2人、女子中学校・高等学校職員1人の計101人である。大谷實総長と野本真也理事長が歓迎のことは述べ、野本理事長が一人ひとりに辞令を手渡した。

●同志社キリスト教育講演会

3月30日、2007年度に新たに入社する社員を対象に、同志社の建学の精神、同志社の歴史、同志社のキリスト教主義等を理解する機会を提供することを目的として、大谷實総長と本井康博大学神学部教授を講師とし、大学寒梅館で同志社キリスト教育講演会を開催した。大谷實総長は「同志社の教育体制」、本井康博大学神学部教授は「志のある学園」同志社にするためには」を演題に講演した。

2007年度入社の社員はもとより、出席者は改めて同志社の建学の精神等に想いを馳せ、有意義な時間を過ごした。

●2006年度同志社総長賞表彰式

同志社総長賞は、本法人がスポーツ活動及び文化活動の国際大会、国際コンクール等において入賞を果たした優秀な学生、生徒、児童、園児に対して、総長がこれを顕彰することを目的として2003年度から設けた。

大学長からの推薦を受けて6人の受賞者を決定した。表彰式は、3月31日、評議員会終了後に大学神学館礼拝堂で行った。大谷實総長の式辞、野本真也理事長の祝辞があり、大谷實総長から受賞者にそれぞれ表彰状と、副賞として楯と図書カードを贈った。

大学

●スポーツ健康科学部教育研究棟(仮称)起工式

2008年4月に設置を予定しているスポーツ健康科学部教育研究棟(仮称)

の起工式を4月4日に開催した。建物は、既存の磐土館南側に増築する形で進める。延床面積は既存部分約1,539㎡で、増築部分約2,675㎡とあわせる。と約4,200㎡になる。構造は、鉄筋コンクリート造の3階建。2008年1月完成の予定である。起工式は、列席者の賛美歌斉唱で始まり、聖書朗読、祈禱、式辞と続き、大谷實総長、野本真也理事長、八田英二学長はじめ5人の鍍入れ（巻頭グラビア参照）があり、祝福をもつて起工式を終えた。

●「学び」と「観光」の融合

「京都観学研究会」を設立

同志社大学と（株）JTB西日本は、双方のもつリソースの相乗効果で観光京都の新たな価値を開発する産学連携組織「京都観学研究会」を設立した。理工系が中心の産学協同事業を、文系が確立するモデルケースである。大学のもつ研究力を観光需要創造の形で地域に還元できる。3月に引き続き、9月にも、研究会の成果をもとに同志社大学今出川校地をメイン会場に生涯学習型観光プログラム

「楽洛キャンパス（京都検定推薦）」事業を実施し、多くの参加者が同志社大学キャンパスを訪れた。

●同志社大学講演会「自己実現と事業経営

―セキユリティ会社セコムを育てて―

6月4日、セコム株式会社取締役会長の木村昌平氏（1967年文学部卒業、同志社大学経営戦略懇談会委員、同志社校友会東京支部長）を講師として迎え今出川校地明徳館において開催した。巡回警備事業からITを活用した社会システム・サービス会社に転換、成長した背景には、新島精神と同じくする同社の事業理念（「二国の良心たらん」）に忠実であったことが紹介された。当日は多くの学生が経験豊かな講師の話を熱心に聞き入った。

●熊本から「カタルパ」の写真が届く

熊本県在住の石井容子（いしい まさこ）さんが本学に立ち寄られ徳富蘇峰記念館にある「カタルパ」の花が見ごろを迎えたと、撮影した「カタルパ」の写真が届けられた。

「カタルパ（和名「アメリカキササゲ」）

は、国内では非常に珍しいアメリカ原産の落葉樹である。写真の花は、新島襄がアメリカから持ち帰った種子を徳富蘇峰に送った縁のある樹の2世にあたる。

1990年には、この3世の苗を京田辺校地の新島記念講堂前に移植し、2006年の春には同志社小学校に4世の苗を移植している。石井さんは「熊本洋学校」と「熊本洋学校教師ジェーンズ」を研究し、過去に調査のため同志社大学を訪問したことがある。



「カタルパ」

女子大学

●女子大学食物研究会×京都ブライトンホテル オリジナルケーキ作り協同プロジェクト

女子大学の食物研究会有志と京都ブライトンホテルは、協同プロジェクトとしてオリジナルケーキの開発に取り組んで



オリジナルケーキを開発しています

いる。このプロジェクトは一年間を予定し、学内公募による学生のアイデアをもとに、ホテル側の意見をとりいれながら食物研究会有志が中心となつて制作している。

ケーキの販売は年4回（4月、7月、10月、1月）。既に販売された春と夏のケーキ（それぞれ3種）は、春の桜や夏の海をイメージしたもの、同志社の徽章をかたどった健康志向のものなど、学生ならではのアイデアが満載。いずれも連日売り切れになるほどの好評であった。秋の新作は10月の販売を予定しており、京都ブライトンホテルの一階ラウンジ「クー・オ・ミディ」にて販売の予定。

●高大連携

高大連携推進の一環として、3月22日に奈良県立平城高等学校と、5月31日には大阪女学院高等学校と教育連携協定を締結した。この協定は、両学校における人的・知的資源の交流・活用を通じて新たな学びの場を創造するとともに、相互の教育の充実・発展に資することを目的としている。

協定に基く具体的な事業として、4月25日に本学の教授と学生が平城高等学校に赴き、特別講義を実施、6月14日には平城高等学校教諭と生徒8人が来校し、本学教授の指導を受けた。また、7月11日には平城高等学校の生徒のべ74人を迎え「同志社女子大学体験ツアー」を実施した。生徒たちは同校出身の本学在学生の案内により、「生」の授業や礼拝参加、学内見学などを体験、一足早い大学生気分を味わった。

本学では従来から出前講義などの高大連携事業を実施しているが、今後これらの協定に基づくさまざまな取り組みを実施し、高大連携をさらに推進する予定。

●奈良県立医科大学との包括協定締結

6月26日奈良県立医科大学（奈良県橿原市）と、学術交流に関する包括協定を締結した。

この協定は、両大学の教育・研究活動全般にわたる交流及び連携を推進し、相互の教育・研究の一層の進展と地域社会の発展に寄与することを目的としている。

この協定により、両大学が単独ではな
しえなかつた教育、研究、診療活動に新
たな可能性を拓げ、優れた人材の育成、
獨創性に富んだ共同研究などを推進し、
學術交流の成果を広く社会に還元でき
るよう努める予定。

●地区別懇談会2007

6月16日、金沢都ホテル、7月7日、
ホテルニューオータニ東京にて、卒業生
と在学生父母を対象に、地区別懇談会2
007を開催した。本学の近況報告の後、
2007年4月に就任したNicholas
John Teague学長による「リベラル・ア
ーツ教育とコミュニケーション」と題す
る講演会を実施。懇親会では和気あいあ
いとした雰囲気の中、讃美歌、同志社
女子大学歌の唱和、キャンパス紹介など
を行った。97歳の卒業生を含め、金沢約
70名、東京110名の参加があった。また、
託児所を開設し、子育て世代の卒業生に
も参加できるように配慮した。

●今出川キャンパス埋蔵文化財発掘調査一般公開

今出川キャンパス東南角にある純正館
の建て替え工事に伴う発掘調査が200

7年3月から始まり、6月23日の一般市
民向けの現地説明会では200人が見学し
た。

今回の調査地点は常盤井殿町遺跡の名
称で知られ、朝廷の要職を占める五摂家
の一つ「二條家」の江戸時代の屋敷跡が
見つかった。漆喰を施した大規模な池を
持つ庭園跡、水量を調節する集水升跡、
遺物として土師器皿や土人形も見つか
り、17世紀末〜19世紀前半の大規模な公
家屋敷の変遷を知ることができる貴重な
発見となった。

高等学校

●卒業式

3月10日

第59回卒業式を行ない、397名の生徒
が母校を巣立った。特に、3年間無遅刻、
無欠課、無欠席、礼拝もすべて出席した
生徒の真摯な努力を顕彰し、校祖新島襄
の『庭上之一寒梅』に因んで設けた「寒
梅賞」の受賞者は9人を数え、卒業後も
時流を越えて「あえて風雪に逆らつて花
開こうとする寒梅」に似た生き方を大切

にしてほしいとの願いを託した。

●学校スキー

3月13〜17日

春の陽射しで雪焼けを気にしながら愉
しむ戸隠での学校スキーに、今年は40人
以上の生徒が参加し、スキーとスノーボ
ードを満喫した。

●入学式

4月7日

総長、理事長の出席のもと本年度の入
学式を実施し、413名が入学した。

●遠足

5月2日

滋賀や京都のキャンプ場を行き先と
し、クラスごとに計画を立て実施する遠
足は、好天にめぐまれ全クラスが飯盒炊
爨で親睦をふかめた。

●花の日礼拝・施設訪問

5月31〜6月1日

庭の花を捧げてくださいと生徒に呼び
かけ、集まった花を壇上に捧げ、自然の
美しさ、命の輝きをたたえる花の日礼拝。
今年も花の数も多く、放課後はその花を
携えてバプテスタ・ホームを生徒有志ら
20余人で訪問。ホザナ・コーラス部員が
この日のために練習を重ねてきた宗教曲
を数曲歌った、ご老人や職員の方たちは

しばしそのハーモニイの美しさに聞きほれ、穏やかな時を過ごされた。

●球技大会

6月6日

教育実習の期間中に行う球技大会は生徒の自主的な運営のもと、本年も円滑に終了した。

●団体鑑賞

7月10日

例年とことなり、2・3年生が合同で会場も京都テルサホールで、ミクルミュージカルの公演「パートタイム・ハイスクール」を鑑賞した。学園祭の準備にも大いに参考になった。

●1年クラス合宿

7月13・14日

「寝食を共にし、語り合い」を通してクラスの親睦を図る目的で、クラスごとに実行委員が計画し本年も実施した。台風の接近により2日目は、安全のため、早めに帰校したクラスが多かった。

●ウエスリー交換留学

7月20～8月6日

15年目となるオーストラリア、メルボルンのウエスリーカレッジとの恒例行事。今年は25人を越える生徒が応募し、男子5人、女子4人が本校を代表して渡豪し、無事帰国した。

香里中高

●高1・2新劇鑑賞

1月25日

高校1年生と2年生全員で劇団四季の「クレージー・フォー・ユー」を観賞した。

●国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト 学校賞受賞

テスト 学校賞受賞

高校3年生の経済特論・政治特論の授業の一環として独立行政法人国際協力機構主催国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2006に参加した。その結果、青少年の開発途上国理解と国際協力に対する意識の昂揚に大きく貢献したとして学校賞を受賞した。

●中3リベルタス見学会

3月3日

中学3年生のリベルタスの授業（総合的な学習）の時間では1年間を通して、「将来のしごと」をテーマに学習した。その最後のまとめとして「私のしごと館」の見学および「しごと体験」を行った。

●卒業式

3月6日

高等学校

●入学式

4月6日

中学校
3月16日
高等学校、中学校の卒業生がそれぞれの希望を胸に巣立った。

●入学式

4月6日

入学式を行い、中学校255名、高等学校310名の新入生を迎えた。

●平成18年度「漢検」最優秀団体賞受賞

2006（平成18）年度の「漢検」において、「最優秀団体賞」（団体数19、723中20団体の選出）を受賞した。

●Western Springs Collegeから留学生が来校

4月10～15日

●New ZealandのAucklandにあるWestern Springs Collegeから15人の生徒が来日。お互いに文化的な交流を深めることができた。

4月18～20日

●校祖墓参・オリエンテーション

4月18・19日

4月18日中学、高校の新入生が校祖墓参を行った。その後、中学1年生は岡山県美作市湯郷に向かい2泊3日でオリエンテーションを行った。スポーツ大会や体験学習を通して友達作り、クラス作り

ができた。また高校1年生は近江八幡休暇村にて、1泊2日のオリエンテーションを行い、水郷めぐり、飯盒炊爨等を通してクラス作りを行った。

●中3狂言

5月1日
香里園にある能楽堂で狂言の鑑賞を行った。

●オープンキャンパス

5月27日
小学校6年生を対象にした17教室に分かれての体験授業と施設見学会を行った。6年生だけでなく4年生、5年生およびその保護者も含めて約1200人が来校し、大盛況のオープンキャンパスとなった。

●スポーツ大会

5月30日 中学校
5月31日 高等学校
5月30日は雨天であったため、中学校のスポーツ大会は中止した。

女子中高

●卒業式

高校卒業式(257人)

2月16日

●中学卒業式(247人)

3月16日

●修学旅行

中学2年生は3月17～19日の2泊3日の日程で九州・長崎方面に、高校2年生は3月17～20日の3泊4日の日程で沖縄に、それぞれが平和学習や体験学習を中心に楽しい思い出を胸に刻んだ。

●スキー学舎

3月18日～22日まで北志賀・竜王スキー場で高校1年生の希望者約90人を対象に、本校教員のみ指導でスキーの講習会を実施した。



スキーの講習会(北志賀にて)

●新入生を迎える日

3月23日

校長による奨励の後、宗教教育や授業、行事、クラブ活動等についての説明、聖書・讚美歌等の配布に続き、入学前の準備やガイダンスを行った。

●入学式

4月9日

中学校248人 高等学校266人

●女子部創立記念礼拝

4月19日

創立131周年の記念礼拝として、講師に女子大学学芸学部教授の中村信博牧師を迎え、「いのちのバトンリレー」と題して、奨励を聞いた。

●芸術鑑賞

4月24日

南座で恒例となっている「歌舞伎鑑賞教室」に参加。歌舞伎の解説を聞き日本舞踊「京人形」を鑑賞し、初めて日本の古典芸能を学んだ。

●中学1年保護者修養会・クラス懇談会

5月29日

キリスト教主義教育について保護者に理解を求めするため、「同志社で学ぶ子どもと共に考えよう」をテーマにカウソセラー高田みぎわ先生に講演をお願いした。

●遠足

5月18日
中学2年生から高校3年生が各学年ごと
に遠足を行い、クラスの親睦を深めた。

●中学1年生修養会

5月17・19日
ユニトピアささやまにて「同志社で学
ぶ―自分を見つめ、友達を理解して隣人
になろう―」を主題に修養会を行なった。
礼拝と団体生活を通して同志社教育の根
幹であるキリスト教主義の教育について
学んだ。

●国際交流

国際交流の一環として他の3中学と共
に米国サンフランシスコのヌエバ校との
交流とホームステイに参加した(本校9
人 3/24・4/1)。ヌエバ校からも
日本への卒業旅行の一環として同志社の
各中学校へ体験入学とホームステイを行
ない(5/7・5/11)、本校には9人
の生徒が来校した。それぞれ生徒たちは
授業や課外活動に参加したり、またホー
ムパーティや観光など通して各家庭と交
歓し、交流を深めることができた。
また、高校2・3年生はイギリス・ケ
ンブリッジのベルスクールで語学研修を

実施した。(32人 7/29・8/13)

●母の日礼拝

5月11日
講師に野本益世先生をお迎えし、「人
の心をつなぐ」と題した奨励を聞いた。
カーネーション販売の収益金及び募金は
ハンセン病救済団体の好善社とIDEA
JAPANに送った。

●球技大会

高校生は5月16日、中学生は6月19日
に球技大会を実施し、バレーボール、ド
ッジボール、ポートボール、バスケット
ボールに各学年の覇を競った。

●花の日礼拝・施設訪問

6月15日
献金や生徒が家庭から持ち寄った花で
壇上をいっぱい飾り、社会福祉法人西
陣児童館の中山あい先生をお迎えし、
「カラフル!」と題して奨励をお願いし
た。また聖歌隊の合唱、ハンドベルの演
奏による賛美礼拝をもった。午後は高校
1年生が花束と募金を持って、京都市内
を中心とする養護施設・老人ホーム・病
院・保育園等24カ所を訪問し、交流をも
った。高校2年生は「高齢者福祉につい
て」(吉浪亜雪さん)と「音楽療法の体

験」(石川美砂さん)について、福祉と
療養の第一線で活躍されている卒業生を
お招きして講演を聴いた。

●オープンキャンパス

6月22日
小学生(約800人)とその家族を対象
に、昨年に続いて実施した。午前の部、
午後の部に分かれ、礼拝のあと授業体験
(午前・午後27教室)やクラブ活動及び
校内の施設見学に参加した。

国際中高

●入寮宣誓式

4月5日
高校の新入生で両親がまだ海外に在住
していたり、通学困難な遠隔地にいる生
徒たちのために用意された学寮に、37人
の新入寮生を迎えた。

●入学式

4月5日
中学生93人、高校274人の新入生を迎
え、新島記念講堂で入学式を行った。

●ヌエバスクール交換プログラム生徒受

入れ
5月5・11日
学内五中高合同の行事である、ヌエバ
スクール交換プログラムの生徒受け入れ

を今年度も実施した。本校では5日のウエルカムセレモニーや授業参加。最終日の修了書授与などを行った。

●高1宿泊研修・校祖墓参

5月7・8日

新入生に対し、同志社で学ぶ意味や建学の精神など生活面や精神面を中心に、ウエルサンピア京都で一泊し学んだ。プログラムの最後に若王子を訪れ、新島襄先生の墓前で、入学の報告を行った。



高1宿泊研修・校祖墓参の一コマ

●中1宿泊研修・校祖墓参

5月10・11日

新入生に対し、同志社で学ぶ意味や建学の精神など生活面や精神面を中心に、同志社琵琶湖リトリートセンターで一泊し学んだ。プログラムの最後に若王子を訪れ、新島襄先生の墓前で、入学の報告を行った。

●中学遠足

6月15日

雨で一日順延となったが、1年生は京都市内の同志社ゆかりの地をめぐるコース、2年生は京都嵐山近辺のオリエンテering、3年生は宇治天ヶ瀬ダム周辺に出かけた。

●高校球技大会

6月15日

雨で一日順延となったが、学年ごとのバレーボール大会を実施した。

●オープンスクール

6月16日

高校入学前の生徒を対象に、オープンスクールを実施。多彩な体験授業や入試相談会などを行った。

●セクシャリティの講演会

6月25日

「性」に関する講演会を中学・高校に分かれて各々外来の講師の先生を迎え実施した。

実施した。

●編入学試験

7月2日

帰国生徒受け入れのための編入学試験を実施した。

●7月入学式

7月6日

帰国生徒のための7月入学式を実施した。今年度も中学1年生から高校2年生までに渡る新しい仲間を迎えた。

●高校リトリートキャンプ会

7月21・22日

無からの創造を合い言葉に、参加する生徒が企画運営するリトリートキャンプが宗教センター・宗教科のサポートを得て関西セミナーハウスで実施した。

中学校

●合唱祭

2月14日

一年を締めくくる恒例の合唱祭では各クラスが熱唱、すばらしい合唱を披露した。

●卒業式

3月19日

卒業生 324人(女子175人 男子149人)
寒さにも関わらず大勢の参加があった。

式後、体育館で卒業パーティを行った。

●**又エバスクール訪問** 3月24～4月1日
恒例となった春の又エバスクール訪問には男女各4人、計8人の生徒が参加。ホームステイ、授業参加など、有意義な交流を行った。

●**入学式**

4月5日
新入生292人(女子151人 男子141人) 晴
天の下、希望溢れる式であった。

●**新入生オリエンテーションキャンプ・創立者墓参**

4月18～20日
休暇村近江八幡で1泊2日のキャンプと、創立者の墓参を2期に分けて行った。

●**遠足**

4月21日
2年生は滋賀県、琵琶湖畔の松の浦キャンプ場で、3年生は京都市の大森キャンプ場で飯盒炊爨を行い、クラスの仲間との親睦を深めた。

●**生徒大会**

5月10日

●**又エバスクール生との交流**

5月7～11日
又エバ生の本校訪問も7回目となり、今回は男子7人、女子2人が本校生徒宅にホームステイし、約1週間授業やクラ

ブ活動に参加して交流を深めた。また10日に行われたWADAIKO NIGHTで和太鼓演奏なども体験し、ホストファミリーとともに楽しい時を持った。

●**春季宗教週間**

6月4～8日
5日 「キミは大丈夫!」

川上盾先生(東神戸教会牧師)

6日 「祈りの習慣く必要な糧を今日与えてください!」

小林聡先生(大津聖マリア教会牧師)

8日 「音の恵み」

竹中真先生(ジャズピアノニスト)

12日 花の日礼拝

「神様を受け入れる」

侯田浩一先生(西陣教会牧師)

花の日礼拝に持ち寄った多くの花を持って、生徒有志が盲養護老人ホーム「船岡寮」を訪問し、ホザナコーラス部や宗教ハンドベル部の歌や演奏、ピースリンク部からのプレゼント贈呈などで交流した。

●**オープンキャンパス**

6月9日
今年のオープンキャンパスには小学生とその家族の皆さん約2600人の参加

があった。礼拝体験や授業体験、入試相談のコーナー、クラブ見学など多彩なメニューで本校の教育内容を紹介。どのコーナーも盛況で、授業体験などでは教室に入りきれないほどの参加者があった。

●**全校バレーボール大会**

●**英語暗唱大会**

6月14日
6月22日

小学校

●**同志社タイム**

「館林千賀子さんと介助犬アトム」

2月7日

館林さんが介助犬アトムを伴って来校し、子どもたちへお話があった。車椅子で移動するとき、アトムは車椅子の人が引つ張られてこけたりしないように車椅子より先には進まないということや、車椅子が坂道を上りにくい時には、車椅子の横にくくりつけられたバンドナをくわえて引つ張り、手助けをするということなどを実演をまじえ、子どもたちに話した。子どもたちは「アトムががんばってくれたときのごほうびは、食べ物とかで



館林千賀子さんと介助犬アトム

はなく、「ありがとう」という言葉と気持ちです。」との言葉が心に残ったようだ。

●修了式

3月19日

同志社小学校にとって初めての修了式を行った。校長は「みなさんの成長が嬉しい」と話した。そのあと、1年生の代表が1年間の振り返りをした。言われてするのではなく、自分たちで考えながら掃除ができるようになったことなど、この1年でできるようになったことについて

話をした。この日で開校からの1年が終わると思うと感慨ひとしおであった。

●入学式

4月10日

桜が満開に咲き誇るこの日、同志社小学校は90人の新1年生を迎えた。今年の入学式では進行などに4年生の児童が関わり、心温まる式となった。新1年生の輝きと、最高学年としての4年生の頼もしさを感じた。同志社小学校らしい暖かな雰囲気となった。

●入学おめでとうの会

4月21日

在校生が中心となり、新入生を歓迎するための「入学おめでとうの会」を開催した。在校生が、クイズをしたり、学校生活の様子を劇にして演じたりと、心から1年生を歓迎することが感じられる会となった。(巻頭グラビア参照)

●通学班別児童会

4月23日

登下校のマナーや安全の確認をするため、通学方面別に分かれて正しい登下校についての話し合った。そのあと、教員と一緒に集団下校をした。1年生も上級生を見習って、はやくマナーを守り、安全に登下校できるようになればと願って

いる。

●幼稚園との交流会

5月29日

幼稚園と小学校の校種間の壁を取り除き、一貫教育をより深めていくことを目的に、4年生が同志社幼稚園に行き、園児の皆さんとの交流会を行った。一緒に自由遊びをしたり、4年生が考えたグループ遊びをしたりして楽しい時間を過ごした。園児も児童も笑顔いっぱい交流会となった。

●2年生宿泊体験学習・「花脊山の家」

6月4・5日

2年生が1泊2日の「花脊山の家」へ宿泊体験学習を全員参加で実施した。キャンプファイヤーやちまき作りなど様々な体験をし、1回り大きくなって帰ってきた。

●同志社タイムズコンパズコンサート

6月8日

創立者新島襄が学んだアメリカ、マサチューセッツ、アーモスト大学の男性アカペラグループ「ズンバイズ」が本校で公演した。ズンバイズの皆さんは、少しでも子どもたちと交流がしたいと給食を



土曜参観日 お父さんと一緒に

一緒に食べたり、運動場で遊んだ。美しい歌声と楽しいダンスで、子どもたちの心をひきつける内容だった。最後に子どもたちからお礼としてアームスト大学に伝わる踊りを披露した。

●花の日礼拝

6月15日

花の日礼拝では一人一輪の花を家から持ち寄り、感謝の祈りをした。礼拝の後、日ごろお世話になっている方に花束と感謝のメッセージを書いたカードを渡し

た。(巻頭グラビア参照)

●土曜参観日

6月16日

土曜日ということもあり、大変多くの保護者の方の来校があった。体育の授業などでは、保護者の方も参加した。保護者の方と一緒に運動できた子どもたちは、とても嬉しそうだった。

●特別礼拝

7月2日

宗教強調週間に川上盾牧師(同志社大学神学部卒、日本キリスト教団東神戸教会牧師)をお迎えして特別礼拝を行った。川上牧師は歌を通してイエス様の心や生きる喜びが伝わった。

幼稚園

●校祖墓参

1月12日

秋から雨天で延期となっていた年中・年長組が、新島先生の墓前礼拝を行った。

●団体鑑賞

1月22日

全園児が、京都会館で「アラジンと魔法のランプ」の演劇鑑賞を行った。迫力のある舞台演出に、驚く子どもが多かった。

●移動動物園

1月30日

園庭に、ウサギやモルモット、羊や犬が来て、動物と触れ合う機会を持った。体中の棘が鋭いやまあらしにも驚く。

●チャリティーコンサート

2月3日

寒梅館で行われた、中学のコンサートに参加し、「庭上之一寒梅」や讚美歌等を披露した。

●もちつき

2月22日

保護者の企画で、杵と臼で餅つきを体験し、搗き立ての餅を味わった。

●園外保育

2月23日

年中・年長組が「京都市市民防災センター」を訪ね、地震の模擬体験等を行い緊急時の安全について学習した。

●マジックショー

2月28日

劇団「飛行船」が来園。全園児でマジックの数々を、真剣な面持ちで鑑賞する。

●マラソン大会

3月3日

秋から練習を重ねての本番。当日は、鴨川沿いの河川敷を走り抜き、多くの保護者から声援と拍手を貰った。

●卒園記念茶会

3月5日

年長児が、一年間の稽古成果を保護者

に披露した。



卒園記念茶会

●卒園記念礼拝

3月9日
年長児とその保護者が、同志社礼拝堂において卒園の礼拝を厳かに行った。

●卒園式

3月16日
年長児38人に、卒園証書を授与する。全園児が参加し、年少・年中組からはお別れの言葉・歌を贈り、卒園児からは菓

立ちの言葉と歌声が園のホールに力強く響き渡った。

●入園式

4月12日
保護者に手を引かれ、新入園児30人（男女各15人）が入園する。在園児の歌声に、思わず涙をとめて聞き入る新入園児も見られた。

●イースター礼拝

4月13日
年少組にとつては、初めての礼拝参加。全園児がホールに集まり、イースターの話を聴き讃美歌を歌った。

●保護者懇談会

4月16・17・23日
学年ごとに、新年度の役員選出と園生活の説明を兼ねた保護者集会を催す。

●遠足

5月23日
年少組親子は、府立植物園を訪れる。年中・年長組は、リトリートセンターを訪問。晴天の中、礼拝や散策を楽しんだ。

●未就園児教室

5月17・24・31日
6月14・16・21日他
地域の子育て支援の一環として、満3歳児を対象とした親子教室を行う。制作やリズム遊び等を教員と共に楽しんだ。

●同志社小学校との交流

5月29日

4年生が本園を訪れ、小学生のグループが計画した内容を、各保育室で、一緒に楽しむ時間をもった。話や歌を聴き合う真剣な表情が印象的であった。

●参観日

2月1～6日、6月4～8日
友達との触れ合いと学びを保護者が参観した。

●花の日礼拝

6月12日
園児が家庭から花を持参し、感謝の礼拝を行った。その後、学内や地域の方にお届けし、日頃の感謝の気持ちを伝えた。

●七夕発表会

7月4・5日
1学期のまとめとして、歌唱や合奏、劇遊びなどをホール舞台で発表し、参加した保護者から拍手を沢山もらった。製作した飾りと笹を持ち帰り、七夕飾りをする。

●お泊り保育

7月6・7日
年長組が園にて、枳形商店街のおばけ屋敷や、すいかわり、花火等を楽しみ、家族と離れての宿泊体験をする。翌日の迎えの時間には、自信を持ち誇らしげな表情で、家族の許に飛び込む姿が見られた。